

弘階池 (ひろしないけ)

位置図



諸元

貯水量	197 千m ³
満水面積	3.8 ha
受益面積	120 ha
堤高	6.0 m
堤長	499 m

弘階池周辺には、四国霊場 88ヶ所の第 72～75 番札所（弘法大師生誕の地である善通寺など）が点在し、善通寺五岳のひとつである筆ノ山（^{ふでのやま} 標高は 295m）の北麓に位置しています。

池の受益地である弘田の里（弘田町）は、古墳時代（4 世紀～7 世紀ごろ）には既に拓けていたと思われる古い土地柄で、山に登らなくても北の吉原平野から瀬戸内海の素晴らしい眺めが目路一杯に足元から展開されていたと思われます。さすらいの歌詠み西行法師（^{さいぎょうほうし} 1118 年～1190 年）が「筆の山にかき登りても見つかるかな苔の下なる岩の気色を」と詠んだのは果たしてどのあたりであったのでしょうか・・・。

池の築造は元禄 4 年（1691 年）で、逐次部分改修に努めてきましたが、平成元年頃より老朽化による漏水が著しく、また、波浪による陥没や前法面の侵食も進み、下流地域への出水被害の恐れが生じてきました。このため関係者の総意により、県営ため池等整備事業にて平成 2～6 年度（1990～1994 年度）に全面改修（堤体・取水施設・洪水吐の改修）されました。

周辺農地では、主に水稻・小麦・大豆・飼料作物・玉ねぎ・レタス・ブロッコリーなどが栽培されています。



南西より望む弘階池の全景
池の右汀は「筆ノ山」の山尻



善通寺正覚門より筆ノ山(右)を望む